

## 農村の未来を創る「地」と「知」の拠点

神戸大学・篠山市農村イノベーションラボ+篠山フィールドステーションは、農村地域の課題解決と発展のため、現場発のイノベーション、地域に根ざした教育と研究、地域の人材育成に取り組む拠点です。神戸大学と篠山市の地域連携協定のもと、神戸大学大学院農学研究科地域連携センターが中心となり進めています。

篠山には、戦後、神戸大学農学部の前身である兵庫農科大学が設立され、1966年の国立移管までの間、多くの学生や研究者が、学び、研究をおこなってきました。その後、当時を知る人々が次第に少なくなる中、改めてその関係性を再構築し、「地」と「知」の発展のため、連携して様々な活動をおこなうこととしました。

篠山市と神戸大学は2007年の地域連携協定締結以降、篠山フィールドステーションの開設や、大学生が篠山で農家に学ぶ実践農学入門や専門知識を活かし現場で実践する実践農学などの「食農コープ教育プログラム」に取り組むとともに、さまざまな共同研究やプロジェクトをすすめてきました。2014年からは、地域人材育成の一つとして、神戸大学生が篠山に住み込みながら自身の専門知を活かした地域の課題解決を目指す「半学半域」型の地域おこし協力隊制度を導入して展開しています。また、「食農コープ教育プログラム」をきっかけとして、学生が自主的に学生団体を結成し、地域の課題解決や地域住民との交流活動を行っており、篠山で活動する学生団体のメンバーは計150人ほどとなっています。

## 地域連携を支える3つの取り組み

### 1 地域創造研究

農村地域の課題解決を目指し、新しい価値を生み出すような研究をおこないます。また、自主共同研究の実施、および研究者等が篠山市で実施する調査研究の支援を通じて、現場とともに社会実験を進め、他地域へ展開可能な地域課題の解決および地域のより良い発展を目指します。



篠山で実践されている研究の多くは学会だけでなく、市民に向けても広く発表しています。

### 2 地域人材育成

篠山や農山村地域を舞台に活躍する学生や若手実践者など、地域発展と課題解決を目指したイノベーターたちの学びや挑戦、成長をサポートします。「食農コープ教育プログラム(大学生向け)」や「篠山イノベーターズスクール(社会人向け)」など、地域に根ざした実践的な学習プログラムを企画支援します。



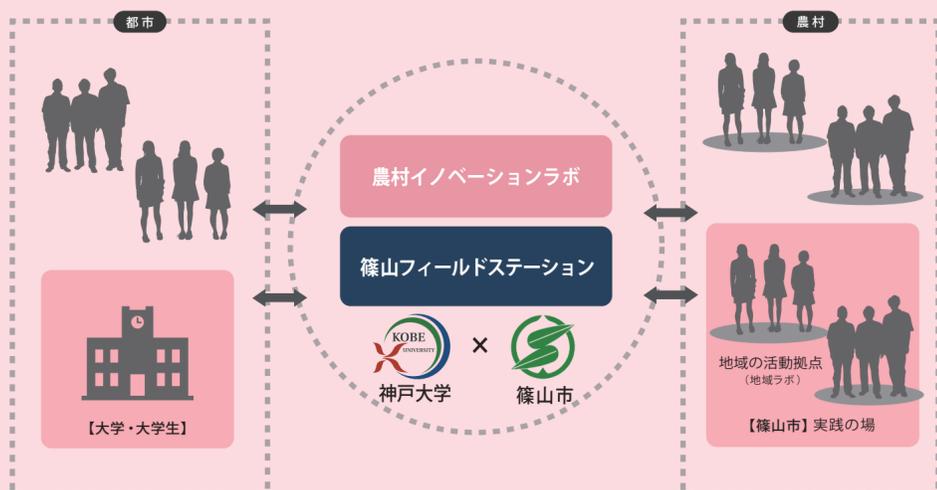
大学生から社会人まで農村を舞台にした多様な人材育成プログラムを実践しています。

### 3 活動・情報支援

さまざまな立場の人々のネットワークづくりを支援し、地域情報の共有と創造を進めます。各種ワークショップやセミナーなどをおこなうとともに、地域づくり活動、政策についてのアドバイスやサポートもおこないます。



地域連携フォーラムや各種セミナーなどを通じて大学の取り組みや事業を公開しています。



## プロジェクトスタッフ 大学研究者をはじめ、若手研究者や実践家など分野を問わず多様なスタッフが運営しています



星 信彦  
リーダー  
神戸大学大学院  
農学研究科 教授



中塚 雅也  
ディレクター  
神戸大学大学院  
農学研究科 准教授



木原 弘恵  
コーディネーター (COC+)  
神戸大学地域連携推進室  
特命講師



木原 奈穂子  
コーディネーター (地域連携)  
神戸大学大学院農学研究科  
学術研究員



衛藤 彬史  
コーディネーター (地域連携)  
神戸大学大学院農学研究科  
学術研究員



内田 圭介  
コーディネーター  
(地域おこし協力隊)  
神戸大学大学院農学研究科  
学術研究員



板垣 順平  
地域おこし協力隊  
神戸大学大学院農学研究科  
学術研究員



橋田 薫  
プログラムマネージャー (LAB)  
一般社団法人 EKILAB.



眞鍋 邦大  
コーディネーター (LAB)  
一般社団法人 EKILAB.



谷垣 友里  
コーディネーター (LAB)  
一般社団法人 EKILAB.



林 利栄子  
スタッフ  
神戸大学大学院農学研究科  
事務補佐員

### 【パートナー】

高田晋史(島根大学生物資源科学部 助教)、西島よき(まちPRオフィス代表)、能口秀一(有限会社ウッズ 代表取締役)、林健二(一般社団法人 TSUMUGI 代表理事)、山本和代(街角企画株式会社)、横山宜致(公益財団法人兵庫丹波の森協会)

神戸大学・篠山市 農村イノベーションラボ

〒669-2212 兵庫県篠山市大沢165-3  
Phone/Fax. 079-506-6628  
http://sasayamalab.jp  
E-mail. info@sasayamalab.jp



神戸大学 篠山フィールドステーション

〒669-2324 兵庫県篠山市東新町4-5  
Phone/Fax. 079-506-2366  
http://fieldstation.sasayamalab.jp  
E-mail. sfs.kobe@gmail.com



# まち・ひと・しごとの創造的な循環を生み出す

地域をめぐる様々な取り組みを実践し、イノベーションをおこす

## 01 地域創造研究



**腸内細菌を用いたニホンザルの農地依存度の把握と加害レベルの判定手法の確立**  
清野 未恵子 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所助教)  
**KEYWORD** 獣害対策、柿野、都市農村交流イベント、環境創造型農業



**里山の管理を再開して森を健康に持続させる地元への提案を目指して**  
黒田 慶子 (神戸大学大学院農学研究科助教)  
**KEYWORD** 里山植生、森林保護、ナラ枯れ、バイオマス



**地域ブランドの発展にかかる農産物認証制度への意識研究**  
木原 奈穂子 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** 農産物認証制度、生産体制、地域ブランド知財マネジメント



**規格外農産物に新たな価値の創出を目指した地域連携商品の開発**  
板垣 順平 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** 規格外農産物、商品開発、地域連携、6次産業化



**人工衛星画像解析を用いた兵庫県内の圃場毎営農状況の自動判別法の開発**  
長野 宇規 (神戸大学大学院農学研究科准教授)  
**KEYWORD** 農地土地利用、リモートセンシング、耕作放棄、地域計画



**駆除した侵略的外来生物の活用方法の研究**  
鈴木 武志 (神戸大学大学院農学研究科助教)  
**KEYWORD** 侵略的外来種、外来種駆除、外来種の利活用、有機肥料化



**新規就農者の定着に地域特産品が果たす役割**  
木原 奈穂子 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** 地域特産品、新規就農、地域ガバナンス



**農産物の選別時における「経験知」とモノの相互交渉に関する研究**  
板垣 順平 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** 経験知、ライフストーリー、農産物の選別、エスノグラフィックリサーチ、山の芋



**スキッドを用いた株間除草機構の開発**  
庄司 浩一 (神戸大学大学院農学研究科准教授)  
**KEYWORD** 水田、乗用型除草機、羽根車、選択性、除去率、倒伏、欠株、コナギ、イヌホタルイ、ノビエ



**新しい特産品づくりに関する研究—香りヤマナシ栽培の可能性**  
片山 寛則 (神戸大学大学院農学研究科准教授)  
**KEYWORD** イワテヤマナシ



**戦略的ニッチマネジメントに基づく持続可能な地域交通サービスの構築に向けた実証研究**  
衛藤 彬史 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** 公共交通、戦略的ニッチマネジメント、地域ガバナンス、構造的転換



**小売業・生活関連サービス業を営む小規模企業者の事業承継に関する意識**  
金城 亜優 (神戸大学農学部学生)  
**KEYWORD** 事業承継、後継者



**地域固有性の発現と農村発展モデルの確立**  
中塚 雅也 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** アクターネットワーク、農村計画、環境保全型農業、地域連携



**篠山市における山林資源の循環活用**  
内田 圭介 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** バイオマス



**中山間地域農業の資本生産性**  
衛藤 彬史 (神戸大学大学院農学研究科科学専攻員)  
**KEYWORD** 中山間地域、有機農業、農業経営、高付加価値



**野生動物の環境化学物質への曝露量とその影響**  
杉田 暁佑 (神戸大学農学部学生)  
**KEYWORD** 環境ホルモン、ネオニコチノイド

## 02 地域人材育成

### 食農コープ教育プログラム

#### ● 実践農学入門 (履修者: 44名)

地元農家に師事し、農作物の栽培やむら仕事を体験しながら、農業や農村生活に関する理解を深めます(6回)。また、体験から得た知識をもとに、地域の課題解決に向けた提案を考えるためのワークショップを含む校内学習(3回)や、農村体験活動やボランティア活動への参加(1回)を設定しています。平成29年度は、農学部や国際人間科学部、文学部などの学生44名が、西紀中地区で農業を実践されている方々(12戸)のもとで、黒大豆の農作業を実施しました。



**● 黒大豆の栽培**  
受入農家さんに教わりながら、年間を通じた農作物(黒大豆)の様々な栽培作業(移植、中耕土、収穫、選別等)を体験しました。



**● ワークショップ(校内学習)**  
農業・農村体験によって得た経験や知見をもとにワークショップを2度実施し、最終的に地域をよりよくするアイデアやプロジェクトを提案しました。



**● 農村ボランティア**  
農作業のお手伝いや地域行事へグループごとに参加する経験をとおして、農業農村に関する理解を深めました。

【ホームページ】<http://kobe-face.jp> [fandacoop](http://fandacoop)

#### ● 実践農学 (履修者: 28名)

調査やプロジェクトに実際に参加し、農村地域における現状課題を調査・分析するとともに、課題解決に寄与する取り組みや施策の企画立案から検証実験までのプロセスを理解することを目的とします。平成29年度は、里山の樹木調査をする森づくりグループと、大芋活性化委員会、篠山市地域おこし協力隊、後川上の西生産組合女性部、JA丹波ささやまを受入先としてプロジェクトごとに企画立案や施策を実施するインターンシップ型グループが演習を行いました。



特産品メニュー開発に向けた調査

#### ● CBL

篠山を舞台にした地域プロジェクト実践を通じて、地域ビジネス実践者に、その技術やノウハウ、理念などを学ぶ学習(Community Based Learning)です。限定8名の少人数制で、スクール生それぞれのビジネスモデルのヒントになるプログラムを設計しています。



ローカルメディアを  
なりわいにするプロジェクト

### 篠山イノベーターズスクール

(第1期生履修者: 19名)(第2期生履修者: 23名)

#### 実践を通しての学習プログラム

#### ● セミナー

大学教員や実務家による講義形式のセミナーです。対話と事例を重視しながら、地域でビジネスや活動をおこなう上で必要とされる、基礎的な理論や考え方を学ぶことができます。2017年現在、全6つのセミナーが開講され、スクール生は、各自のテーマや興味関心に合わせて、3つのセミナーを選択・受講し、ビジネス創出に必要な基礎知識や手法を学ぶことができます。



食と農の流通とマーケティング  
クリエティブ・デザイン思考  
農村イノベーション  
ファシリテーション入門  
地域の成り立ちと構造  
ローカルデザインスキル

【ホームページ】<http://school.sasayamalab.jp>

## 地域おこし協力隊

篠山市地域おこし協力隊は、現役の学生や大学院生が学業と並行して協力隊活動を行う「学生挑戦型」と自身の専門性や得意分野を活かしながら起業を目指す「起業支援型」、そして自身の研究手法やテーマで地域課題の解決を目指す「地域研究型」の3つの活動形態を設けています。学生の挑戦する力と起業、そして研究といったそれぞれのアプローチから地域課題の解決を目指すとともに、挑戦的な事業を展開していきます。



コーディネーター 内田圭介 (2017~) 「ランドスケープデザイン」  
地域研究型 板垣順平 (2017~) 「エスノグラフィックデザイン」「クラフトワーク」  
起業支援型 新田哲也 (2017~) 「農産物販路マップの作成」「前や夜を利用したワークショップ」  
起業支援型 石坂将一 (2016~) 「都市農村交流」「産校利用」「里山工房くらも」  
学生挑戦型 小牧満也 (2016~) 「住民参加型里山整備」「地域材の新たな価値の創出」  
起業支援型 岸田万穂 (2016~) 「古道具のリノベーション」「リビルディングセンター」  
起業支援型 池上知佳 (2017~) 「ピラティス講座」「オーガニック食材の普及」  
起業支援型 梅谷美知子 (2017~) 「農村インバウンド」「田舎起業女子計画」

## 03 活動・情報支援

セミナー・イベント開催

104件

篠山市と神戸大学の連携成果発表と今後の展開を考える場としての「篠山市・神戸大学地域連携フォーラム」を例年通り開催した他、本年度は神戸大学・篠山市農村イノベーションラボの開設により、ラボオープントークやRLN、スクール関係のセミナー等のイベント回数が大幅に増加しました。

視察件数

14件

2017年度はラボとフィールドステーションで合わせて14件の視察を受け入れました。受け入れは岡山県新庄村議会や東京農工大学、福知山公立大学、金融政策公庫など、行政団体や議会、大学、金融機関を中心に、篠山イノベーターズスクール事業や大学との連携事業に関する問い合わせが多く、起業家育成や拠点整備、官学連携によるソーシャルイノベーションの創発への関心が多くありました。

相談件数

200件

ラボの活動が本格化するに伴い、地域からの問い合わせ件数および協力隊関係、行政関係からの問い合わせ件数が増加しました。また、神戸大学学生サークルに対する活動の他、丹波篠山地域で活動する大学間の連携や留学生地域交流活動、地元高校の総合学習といった教育機関からの相談件数も増加しました。

施設利用件数

292件

神戸大学文学部の古文書倉庫や留学生センターの「日本文化見学旅行」受入など、神戸大学内の連携による施設利用に加え、相談を受けての地元高校の総合学習、地元活動団体を含む地域内外からのセミナー開催、国の支援機関であるよろず支援拠点の篠山地域での相談対応等の利用がありました。

(2017年1月~12月)

## 学生活動団体

毎年、篠山市内の異なる地区で実施されている実践農学入門に参加した学生らが自主的に学生団体を結成しています。活動目標や取組内容は様々で、それぞれが特色やこだわりを持って地域と連携した活動を行っています。楽しみながらも、継続的に地域のさまざまな課題解決にチャレンジしています。



ささやまファン倶楽部 眞南条土地区  
2010年結成。地域の魅力発見をテーマに、農業ボランティアや里山整備、地域イベントへの参加を行っています。  
サンセット12 日置地区  
2015年結成。地域の方々と連携して学生参加を募り、特に波々伯部神社の例祭へ呼び込む活動を行っています。  
おくものがたり 大宇地区  
2017年結成。現在、学生団体の立ち上げを目指して地域イベントに参加したり、農家のお手伝いを定期的に行っています。  
にしき恋 西紀南地区  
2013年結成。地域密着を理念に、毎週末農業ボランティアや黒大豆の栽培、地域交流等を行っています。  
AGLOC 岡野地区  
2016年結成。地域と世界を繋ぐをテーマに、留学生らとともに月に1回の農業ボランティアや地域活動を行っています。